

筑後市交通安全協会だより

平成30年3月20日作成

○ 先ず昨年中の交通事故（人身事故）の状況からお知らせします

（ ）は前年比です

	福岡県内事故	子ども関連事故	高齢者関連事故	自転車事故	飲酒運転事故
発生件数	34862	1259	10480	5074	126
	(-2446)	(-4)	(-400)	(-57)	(-32)
死者数	139(-4)	4(+2)	80(+4)	17(-2)	0(-6)
筑後署管内事故	708(-19)	27(+2)	249(-8)	58(-13)	2(+2)
死者数	3(+3)	0	3(+3)	1(+1)	物件9(+6)
筑後市内事故	383(-4)	19(+10)	122(-4)		筑後市での逮捕
死者数	2(+2)	0	2(+2)		件数4

県下の高齢運転者事故(65歳以上) 6831件(前年比-136件)

筑後署管内の高齢運転者事故158件

◎ 死亡事故は減少しましたが、高齢者の死亡が半数以上を占めています

あなたの街の発生状況は(交番所・駐在所別)

熊野交番	羽犬塚交番	水田駐在	古川駐在	船小屋駐在	馬間田駐在
114	184	36	9	30	10
-12	-8 死者2	-14	-2	+3	+1

計383件(-4件) 死者2名(+2名) 負傷者511名(-11名)となっています

事故多発ヶ所ベスト5

1位 旧国道442号富久交差点 2位 442号前津交差点

3位 池の下北点滅交差点 4位・5位 前津の点滅交差点(2か所)

他に国道209号徳久北・盛徳交差点があげられ、出会う頭・追突事故が大半です。

◎交差点では確実に止まって左右の確認をし、わき見運転は絶対にやめましょう

○ 次に昨年1年間の筑後署管内の飲酒運転について報告します

昨年の飲酒運転の取り扱い件数は、

検挙件数22件(-4件)を含め合計33件(+4件)

となり、前年より増加しました。

内訳 逮捕11件(-1件) 切符処理11件(-2件) 書類送致11件(+7件)

市民の通報による検挙件数5件(-6件)

筑後市での逮捕件数 4件

◎県下では昨年、飲酒運転による死亡事故は0で件数も減少しましたが、筑後署管内はなかなか減少しません。



今年も3月半ばを過ぎましたが、筑後市では重大事故につながるような事故は発生しておらず、発生件数も前年を下回っています。

しかし、いつ自分が加害者・被害者の立場になるかもしれないのが交通事故の恐ろしさであり、他人事ではありません。

～当協会は、市民の皆様が安心して生活できる交通社会を目指しています～

筑後市大字山ノ井341-6 (筑後警察署東隣) 53-7599

筑後市交通安全協会 事務局長 田中

飲酒運転をなくすには本人の自覚が一番大事ですが、家族同僚等周りの協力が必要であり、本人はもとより飲酒運転にかかわった人も大きな処罰を覚悟しなければなりません。

当協会からのお知らせです

1 優良運転者表彰募集について(申し込み締め切り日 10月20日)

筑後市交通安全協会会長表彰

運転経歴5年・過去5年以上無事故無違反・罰金以上の刑に当たる犯罪行為がない人

筑後警察署長・当協会長連名表彰

運転経歴10年・過去10年以上無事故無違反・罰金以上の刑に当たる犯罪行為がない人

2 秋の交通安全県民運動期間中(9・21～9・30)の交通安全キャンペーン実施予定について

9月23日(土)市主催の「ちっこ祭り」に今年も参加させていただきます。例年、会場ステージにおいて交通安全の寸劇等を行い、その後会場の皆様に啓発物を配り交通安全を呼びかけていますが、今年は午前9時50分から行う予定になっています。

また、10月2日(月)筑後自動車学校において、高齢者の交通事故防止キャンペーンを計画中です。

～当協会は独立したボランティア団体であり、善意ある皆様の入会費等で運営しています～

お問い合わせは筑後警察署東隣 筑後市交通安全協会 事務局(TEL/FAX53-7599)まで

○ 交通事故の発生件数そのものは減少していますが、事故で亡くなる方の半数以上が65才以上の高齢者で、交差点等で横断中に事故にケースです。

○ 更に今問題になっているのが、高齢者の運転による事故・違反が増加していることです。

「年末の交通安全キャンペーン」

当協会としましては、筑後市から高齢者運転による事故や高齢者の歩行・横断での事故を1件でも減らすべく、昨年に引き続き筑後警察署や筑後市と協働で

「年末の交通安全キャンペーン・夜間における〔参加・体験型〕交通安全教育」
を行いました。

日時 平成28年11月16日(水)午後6時00分から

場所 筑後市大字久富 筑後自動車運転免許試験場 試験コース

参加者 当協会・市の交通指導員・各校区コミュニティー協議会等総勢70名

内容

最近の死亡事故の特徴の一つとして夜間・薄暮時の歩行中の事故があげられ、その原因が歩行者の発見遅れが指摘され、国も来年から

車のライトを上向きにして早く歩行者を発見し、事故を未然に防止する

等の交通安全施策を実施することになっていることから、高齢者に対する「前照灯効果」「反射材効果」等の視覚実験を行ないましたが、

日頃から交通安全活動に携り、指導する立場でもある参加者全員が真剣に取り組みました。

○ 前照灯照射実験

ロービーム(下向きライト)・ハイビーム(上向きライト)それぞれの照射範囲を体験

○ 服装(黒・赤・白・)色の違いによる視認性の実験

ロービーム・ハイビームそれぞれの照射による見え方を体験

○ 反射材活用実験

反射タスキ・アームバンド等の見え方

今回の実験で分かったこと

○ 運転者は日ごろ車のライトは上向きに照らし、常に前方を注視して歩行者を早く発見する

○ 歩行者は夜間・薄暮時、運転者が早く自分に気づくように明るい服や反射材を身に着ける

当筑後市交通安全協会は独立したボランティア団体で、皆様の善意ある入会金で運営しています。

当協会員は警察や様々な機関からの交通安全教育を学び、それを基に皆様の交通安全に役立ちたいと願って活動しております。活動状況につきましては、インターネット配信で福岡県交通安全協会にアクセスし、地区交通安全協会から当協会のホームページが閲覧できます。